

ガガイモ科フナバラソウ (*Vincetoxicum atratum*), アオフナバラソウ (*V. atratum* f. *viridescens*) の新産地とその保全

佐藤友香*・吉澤康暢*

The new record of *Vincetoxicum atratum* and *V. atratum* f. *viridescens* (Asclepiadaceae) in Fukui Prefecture, and the efforts for the conservation

Yuka SATO*, Yasunobu YOSHIZAWA*

キーワード：フナバラソウ，アオフナバラソウ，ガガイモ科，県内新産地，絶滅危惧植物，
保全

2006年6月5日、坂井市三国町東尋坊にてフナバラソウ *Vincetoxicum atratum* 個体群が発見されたので報告する。

本種はガガイモ科カモメヅル属の多年草で、暗紅色の花を総花柄に多数付ける。福井県では産地極限により県域絶滅危惧Ⅱ類に指定されている（福井県福祉環境部自然保護課, 2004）。当館所蔵の標本の産地、及び福井県植物誌（渡辺, 2003）では、近隣の岩礁環境である雄島・越前松島（坂井市梶）からは既に記録されていたが、東尋坊での報告はこれまでにない。

東尋坊の個体群は、個体数調査の結果、他より個体群サイズが小さく、さらには多数の観光客が訪れる立地にも生育しているため、踏み付けや生育地の管理行為などにより個体群の消滅の危機にさらされやすいと考えられた。また、雄島・越前松島の両個体群では、

原（1949）により花が薄緑色の品種とされているアオフナバラソウ *V. atratum* f. *viridescens*とともに、それとの中間花色の変異個体が（写真a, b）多数存在しているにもかかわらず、東尋坊個体群では典型的な暗紅色の花色のフナバラソウしか発見されないことも興味深い。

今回この個体群の発見にともない、県自然保護課に報告した。また、夏季に行われる草刈りにおいて配慮してもらえるよう、地元商店街の方々に本種についての説明を行った（2006年6月26日）。秋には結果も確認している。

なお、越前松島におけるアオフナバラソウも、これまでの標本及び文献記録にはないことを付記しておく。

引用文献

- 福井県福祉環境部自然保護課, 2004, 福井県の絶滅のおそれのある野生植物2004（福井県レッドデータブック）植物編. 福井県, 福井, 100.
原 寛, 1949, 日本種子植物集覽. 第1冊, 岩波書店, 東京, 149.
渡辺定路, 2003, ガガイモ科. 改訂増補 福井県植物誌, 福井新聞社, 福井, 265-266.



写真a 花冠全体が薄紅色の花



写真b 花冠は薄緑色、副花冠は暗紅色の花

The new record of *Vincetoxicum atratum* and *V. atratum* f. *viridescens* (Asclepiadaceae) in Fukui Prefecture, and the efforts for the conservation

Yuka SATO and Yasunobu YOSHIZAWA

Abstract

The new populations of *Vincetoxicum atratum* and *V. atratum* f. *viridescens* (Asclepiadaceae) were found the coast environments in Sakai City in Fukui Prefecture.

This site is a famous sightseeing place, so we explained the residents the necessity of leaving these species when they mow. Therefore we could confirm being in fruit in the autumn.

Key Words: *Vincetoxicum atratum*, *V. atratum* f. *viridescens*, Asclepiadaceae, The new population, endangered plants, conservation

*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Fukui City Museum of Natural History 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan

